

報告

ノロウイルス食中毒予防強化期間 支部・支所の取り組み

正しい手洗い教室

鹿児島県鹿児島市支所より

平成27年度から毎年4校から5校の小学校を訪問し、低学年を対象に「正しい手洗い教室」を実施しています。

はじめに、3枚の質問パネルを見せて、いつ手を洗い、どうして手を洗うのか、保健所職員が質問をして、子供たちに答えてもらいました。その後、汚れに見立てたローションを塗り、普段どおりに手を洗い、手洗いチェッカーで青く光ったところを確認しました。青く光った手を見た子供たちは、たくさん光っていることにとても驚いていました。次に、手洗いマイスターが、洗い残しの多い箇所をわかりやすく説明しながら、衛生的な手洗い方法を子供たちに教えた後に、正しい手順で手を洗い、再度手洗いチェッカーで確認しました。

子供たちに感想を聞くと、「手を洗うのがこんなに難しいとは思いませんでした」「手洗いの仕方を教えてもらって良かったです」と、元気よく答えてくれました。



正しい手洗い手順を教える様子

小学校で手洗い授業を開催しました！

令和6年12月10日、久留米市立御井小学校の家庭科室で、1年生（2クラス55名）を対象に手洗い授業を行いました。

最初に、養護教師より「給食前やトイレ後、外遊びの後に手を洗わない人がいること」「手には目に見えないノロウイルスなどのバイ菌がいっぱい付いていること」などについて説明がありました。そして、手洗いマイスターの食品衛生指導員から、「正しい手洗いの方法」について身振り手振りでわかりやすく説明を受けた後、各グループで「正しい手洗い講習」を実践しました。手洗いの実践では、まず手にローションを付けて自分たちのいつものやり方で手を洗い、手洗いチェッカーのライトに手をか



グループに分かれて手洗い実践！

手洗い教室を通して、トイレの後、外出後、食事の前に手を洗うことは、食中毒予防にもなり大切だということを知ってもらい、それをお友達や家族にも教えてあげてほしいと子供たちに伝えました。

最後に、タベルマンの「マルチケース」*をプレゼントすると、とても喜んでくれました。

今後は、子供たちだけでなく保護者の方にも手洗い教室の機会を設けることができたらと考えています。



手洗いマイスターの説明を真剣に聞く子供

※食品衛生月間「マルチケース」

裏面



手洗い手順のイラスト付き



↑日食協にて販売中

福岡県久留米支所より

ざして汚れの落ち具合を確認しました。

その後、手洗いマイスターの指導を受けながらローションが残った手をもう一度洗ってみて、どのくらい汚れが落ちているかを確認しました。子供たちは、最初はたくさんの洗い残しがあり、大騒ぎしていましたが、マイスターの指導により、きれいに洗えたことを確認すると、「こんなにきれいに洗えた！」と友達同士で手を見せ合い大喜びでした。また、マイスターも子供たちにいろいろと質問されて嬉しそうでした。今後も「食中毒予防は手洗いから」ということについて多くの消費者に啓発を進めるとともに、私たち食品関係営業者自身も気を引き締めて実践していくことを決意しました。



手洗いチェッカーで洗い残しをチェック